


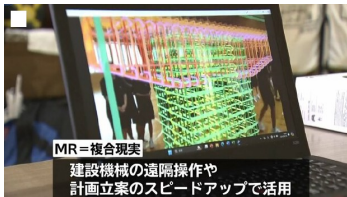








令和7年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目（盛岡広域振興局）



1 人口減少対策

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考																																	
<p>結婚支援</p> <p>○ 県内の“いきいき岩手”結婚サポートセンター「i-サポ」の登録者数に減少傾向がみられることから、有配偶率の向上に向けて、「i-サポ」の更なる認知度の向上が必要</p> <p>【「i-サポ」の年度別会員数の推移】（令和6年度は9月末現在）</p> <table border="1" data-bbox="264 539 1032 710"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">年度末又は当月末会員数（人）</th> <th rowspan="2">成婚数</th> </tr> <tr> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4年度</td> <td>778</td> <td>539</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>1,034</td> <td>698</td> <td>336</td> </tr> <tr> <td>R6年度（※）</td> <td>990</td> <td>669</td> <td>321</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 管内市町では、令和6年9月末時点で会員数0人のところもあること。</p>	年度	年度末又は当月末会員数（人）		成婚数	男性	女性	R4年度	778	539	239	R5年度	1,034	698	336	R6年度（※）	990	669	321	<p>結婚支援</p> <p>1 「i-サポ」の認知度向上に向けた取組の実施及び出会いや結婚を応援する社会的気運の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公用封筒への印刷、PRグッズ（エコバック、クリアファイル等）の作成 など ・ 各種イベントでのPR ・ 管内市町と連携したPR（広報紙や市町のLINEによる発信など） 	<p>自然減・社会減対策</p> <p>地経費</p> <p>新規</p>															
年度		年度末又は当月末会員数（人）			成婚数																														
	男性	女性																																	
R4年度	778	539	239																																
R5年度	1,034	698	336																																
R6年度（※）	990	669	321																																
<p>いわてとのつながりの維持・強化（地元定着、U・Iターン）</p> <p>○ 新規学卒者の県内就職の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管内新規高卒就職者数が年々減少していることに加え、就職率も全県の数値を下回っている状況にある。生徒向けにキャリア教育を推進するとともに、保護者や進路指導教員に対しても、県内企業や県内就業への理解促進が必要 <p>【新規高卒者の県内就職率の推移】（単位：％）</p> <table border="1" data-bbox="293 1066 920 1169"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R3.3卒</th> <th>R4.3卒</th> <th>R5.3卒</th> <th>R6.3卒</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校（全県）</td> <td>71.1</td> <td>73.7</td> <td>73.4</td> <td>71.1</td> </tr> <tr> <td>高校（管内）</td> <td>67.8</td> <td>68.7</td> <td>69.0</td> <td>67.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>（R5年度管内目標値 75.0%を下回っている）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管内の理工・情報系学部の7割以上の学生が県外に就職しており、大学生等がIT技術に興味・関心を持ち、県内IT関連企業への就業等を促進する取組が必要 <p>【管内大学の理工・情報系学部の就職率】</p> <table border="1" data-bbox="248 1361 1032 1465"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内</td> <td>26.1%</td> <td>25.3%</td> <td>26.9%</td> <td>26.2%</td> <td>23.9%</td> </tr> <tr> <td>県外</td> <td>73.9%</td> <td>74.7%</td> <td>73.1%</td> <td>73.8%</td> <td>76.1%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R3.3卒	R4.3卒	R5.3卒	R6.3卒	高校（全県）	71.1	73.7	73.4	71.1	高校（管内）	67.8	68.7	69.0	67.6	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	県内	26.1%	25.3%	26.9%	26.2%	23.9%	県外	73.9%	74.7%	73.1%	73.8%	76.1%	<p>いわてとのつながりの維持・強化（地元定着、U・Iターン）</p> <p>1 学生等を対象とした企業見学、体験学習の実施【産業全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学生 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等教育機関と連携した学生と県内IT関連企業とのマッチングガイダンスの開催 ・ 企業の経営者や若手社員等との交流会の実施 ○ 高校生 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターンシップと就職先の相関の分析などによる好事例の横展開 ・ 出前授業、工場見学の実施 ・ 企業の経営者や若手社員等との交流会の実施 ○ 保護者、教員 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や教員を対象とした企業見学や企業との交流会の実施 <div data-bbox="1355 1268 1594 1407" data-label="Image"> </div> <p>マッチングガイダンス</p> <div data-bbox="1617 1268 1877 1407" data-label="Image"> </div> <p>保護者・教員企業見学会</p>	<p>自然減・社会減対策</p> <p>広域</p> <p>地経費</p>
区分	R3.3卒	R4.3卒	R5.3卒	R6.3卒																															
高校（全県）	71.1	73.7	73.4	71.1																															
高校（管内）	67.8	68.7	69.0	67.6																															
区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度																														
県内	26.1%	25.3%	26.9%	26.2%	23.9%																														
県外	73.9%	74.7%	73.1%	73.8%	76.1%																														


現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考																																				
<p>○ 新規就農者の状況 令和4年度以降の新規就農者数は、確保目標数（79人）を上回っているが、高齢化等による農業従事者の減少に対応するため、継続的に新規就農者を確保する必要</p> <p>◆新規就農者数（単位：人）</p> <table border="1" data-bbox="264 391 907 507"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県央</td> <td>79</td> <td>74</td> <td>68</td> <td>88</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>268</td> <td>312</td> <td>277</td> <td>291</td> <td>286</td> </tr> </tbody> </table> <p>（盛岡地方農業農村振興協議会調べ）</p>	区分	R1	R2	R3	R4	R5	県央	79	74	68	88	89	全県	268	312	277	291	286	<p>〔農業〕</p> <p>○ もりおか地方農業人材確保対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内外の就農相談会における就農相談対応、オンライン就農相談会の開催 農業情報発信サイトと連携した就農事例紹介や市町の支援情報の発信 市町、関係機関の担当者を対象とした「就農相談スキル向上研修会（経営継承支援等）」の開催 	<p>自然減・社会減対策</p> <p>地経費</p> <p>一部新規</p>																		
区分	R1	R2	R3	R4	R5																																	
県央	79	74	68	88	89																																	
全県	268	312	277	291	286																																	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="277 550 546 778">  <p>スマート農業学習会 (R6.10)</p> </div> <div data-bbox="703 550 931 778">  <p>「マイナビ農業」での情報発信</p> </div> </div>	<p>○ 小中学校を対象とした農業体験学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 農機メーカーと連携した出前学習会の開催 教職員を対象とした農業を学ぶ研修会の開催 <p>○ 農業教育機関等と連携した担い手確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 就農を希望する県立農大生や盛農特別専攻科受講生等を対象とした盛岡地方の農業や就農支援情報をPRする学習会の開催 	<p>地経費</p> <p>新規</p>																																				
<p>○ 建設業従事者の状況 建設企業で働く技術者・労働者の主たる担い手が、約10年後に一斉退職・大幅減となることが予測されており、担い手の確保・育成が必要</p> <table border="1" data-bbox="257 1021 1025 1385"> <caption>県内建設業従業員数の推移（年齢構成別）</caption> <thead> <tr> <th>年代\年度</th> <th>H21</th> <th>H24</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10代</td> <td>309</td> <td>620</td> <td>576</td> </tr> <tr> <td>20代</td> <td>5,104</td> <td>4,395</td> <td>4,559</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>11,600</td> <td>10,288</td> <td>5,711</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>11,858</td> <td>10,909</td> <td>11,279</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>15,982</td> <td>14,373</td> <td>10,607</td> </tr> <tr> <td>60代以上</td> <td>6,702</td> <td>11,116</td> <td>15,262</td> </tr> <tr> <td>計（人）</td> <td>51,556</td> <td>51,701</td> <td>47,994</td> </tr> <tr> <td>50代以上（%）</td> <td>44.0%</td> <td>49.3%</td> <td>53.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（出典：経済センサス活動調査、岩手県建設業構造実態調査）</p>	年代\年度	H21	H24	R3	10代	309	620	576	20代	5,104	4,395	4,559	30代	11,600	10,288	5,711	40代	11,858	10,909	11,279	50代	15,982	14,373	10,607	60代以上	6,702	11,116	15,262	計（人）	51,556	51,701	47,994	50代以上（%）	44.0%	49.3%	53.9%	<p>〔建設業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生及び保護者・教員を対象とした建設現場見学と体験学習の実施（ICTを活用した重機・ドローン体験、DX技術体験、管内建設業紹介等の出前授業等） 盛岡工業高校の生徒を対象とした女性技術者（いわて女性の活躍促進連携会議「けんせつ小町部会」とのワーク・ライフ・バランスやキャリアアップについての意見交換会の実施） 大学生を対象とした出前授業（当局職員、管内の建設コンサルタント及び建設会社の技術者を講師とし、各企業の業務内容や最新技術、建設業の魅力について情報発信等）の実施 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1151 1264 1447 1461">  <p>中学生が職業体験で、デジタルトランスフォーメーションの導入が進む建設業界を体感...</p> </div> <div data-bbox="1487 1264 1832 1461">  <p>MR=複合現実 建設機械の遠隔操作や 計画立案のスピードアップで活用</p> </div> </div> <p>建設業体験学習</p>	<p>地経費</p>
年代\年度	H21	H24	R3																																			
10代	309	620	576																																			
20代	5,104	4,395	4,559																																			
30代	11,600	10,288	5,711																																			
40代	11,858	10,909	11,279																																			
50代	15,982	14,373	10,607																																			
60代以上	6,702	11,116	15,262																																			
計（人）	51,556	51,701	47,994																																			
50代以上（%）	44.0%	49.3%	53.9%																																			

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考												
<p>○ 医療、介護、福祉の従事者の状況</p> <p>【第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数(県全体)】(単位:人)</p> <table border="1" data-bbox="244 288 1001 491"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>2022年 (R4年度)</th> <th>2026年 (R8年度)</th> <th>2040年 (R22年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要数</td> <td>-</td> <td>26,052</td> <td>26,477</td> </tr> <tr> <td>現状推移を見込んだ職員数</td> <td>24,466</td> <td>23,822</td> <td>20,490</td> </tr> </tbody> </table>	年度	2022年 (R4年度)	2026年 (R8年度)	2040年 (R22年度)	必要数	-	26,052	26,477	現状推移を見込んだ職員数	24,466	23,822	20,490	<p>〔医療・介護〕</p> <p>管内中学生を対象とした進学・就学の動機付けを行う出前講座(講師:医師、看護師、介護士等)の実施</p>  <p>安代中学校出前講座</p>	<p>自然減・社会減対策</p>
年度	2022年 (R4年度)	2026年 (R8年度)	2040年 (R22年度)											
必要数	-	26,052	26,477											
現状推移を見込んだ職員数	24,466	23,822	20,490											
<p>○ 林業の従事者の状況</p> <p>林業就業者の60歳以上の割合は約4割を占めており、人材の確保・育成が必要</p> <p>〔参考〕令和4年度の年代別割合:盛岡局管内 39歳以下:27%、40~59歳:33%、60歳以上:40%</p> <p>○ 厳しい作業条件もあって発生率の高い、労働災害や死亡事故を防止するため安全対策の徹底が必要</p>  <p>盛岡地区安全伐倒競技会</p>  <p>セーザイゲーム</p>  <p>単管パイプを用いた苗畑施設(和歌山県)</p>	<p>〔林業〕</p> <p>○ 新規就業者の確保・定着対策及び林福連携の就業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生などを対象とした理解醸成 木材産業関係者との意見交換会、製材業の理解醸成(木材利用主題の意見交換、セーザイゲームの実施) 林福連携に関心のある事業体の活動支援 苗木生産の取組に関する情報収集(場所を選ばない単管パイプを用いた苗畑施設の検討) <p>○ 林業従事者の伐採技術向上及び安全意識の醸成</p> <p>盛岡地区安全伐倒競技会、JLC[※]出場に向けた技術支援</p> <p>※ 日本伐木チャンピオンシップ</p>	<p>自然減・社会減対策</p> <p>地経費</p>												

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考
<p>○ 二地域居住を促進する法改正や各自治体での特徴的な取組（海士町：大人の島留学、福島県・大分県：転職なき移住）など関係人口を重視する流れを踏まえ、滞在型関係人口の推進により、圏域への人の流れを創出することが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内市町の移住・定住の仕掛けが機能するよう、市町村のニーズに基づき支援していくことが必要 県外在住者の来訪及び滞在へのハードルを下げ、気軽に選択してもらえるような手法を構築する必要 農業の事業承継等に象徴される広域的に共通する人不足の解決に取り組む必要 <div data-bbox="452 794 680 834" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">大人の島留学 HP</div> 	<p>2 盛岡広域滞在型関係人口創出事業</p> <div style="text-align: center;"> 募集・サポート コーディネート 受入支援 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(県外在住者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方暮らしに関心がある人 管内出身者やゆかりがある人 市町とつながりがある企業等 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>(受入先)</p> <p>市町のお試し住居などを拠点に</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の特徴を活かした就業体験 ワーケーションやテレワーク 地域課題解決の活動 </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">市町への</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">移住、二地域居住、転職なき移住、サテライトオフィス誘致</div> </div>	<div style="background-color: yellow; padding: 2px; text-align: center;">自然減・社会減対策</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 5px;">広域</div> <div style="background-color: red; color: white; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; text-align: center; margin: 5px auto;">新規</div>
<ul style="list-style-type: none"> 北部3市町のUターンの潜在的候補者との継続的なつながりが必要 <p>○ 管内出身者等が首都圏でネットワークをつくり、盛岡エリアの魅力を発信しており、そのような転出者の声を聞いて、社会減対策に取り入れる必要</p> <div data-bbox="517 1289 745 1321" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">オンライン配信</div> 	<p>3 北いわてゾーン3市町（八幡平市・葛巻町・岩手町）出身者への情報提供の継続</p> <p>4 管内8市町合同での移住相談会及びオンライン配信</p> <p>5 地域おこし協力隊（OB・OG 含む）等の活動分野ごとの交流の促進、交流の深化による定着促進</p> <p>6 首都圏の若者との関係の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 盛岡広域出身の若者で構成される「リトルもりおか」との意見交換 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">地経費</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">地経費</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">地経費</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">地経費</div> <div style="background-color: red; color: white; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; text-align: center;">新規</div>




現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考																																																						
<p>多様な雇用の創出、労働環境と所得の向上</p> <p>○ 園芸産地力の向上 県央圏域の多くの園芸品目が主産地を形成。生産性・収益性を向上し、一層の産地力強化に向けた環境制御技術やAIを活用したスマート農業機械等の導入推進が必要 ◆令和5年度主要園芸品目のJA系統販売額（単位：箱、t、百万円）</p> <table border="1" data-bbox="226 517 987 687"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">りんどう</th> <th colspan="2">きゅうり</th> <th colspan="2">ミニトマト</th> </tr> <tr> <th>数量(箱)</th> <th>販売額</th> <th>数量</th> <th>販売額</th> <th>数量</th> <th>販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県央 (県内シェア)</td> <td>138,710 (57%)</td> <td>1,261 (61%)</td> <td>2,402 (33%)</td> <td>622 (32%)</td> <td>495 (57%)</td> <td>360 (59%)</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>243,559</td> <td>2,082</td> <td>7,319</td> <td>1,950</td> <td>866</td> <td>606</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="226 719 987 890"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">キャベツ</th> <th colspan="2">ほうれんそう</th> <th colspan="2">ねぎ</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>販売額</th> <th>数量</th> <th>販売額</th> <th>数量</th> <th>販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県央 (県内シェア)</td> <td>14,685 (89%)</td> <td>1,308 (91%)</td> <td>411 (43%)</td> <td>244 (44%)</td> <td>1,419 (62%)</td> <td>548 (62%)</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>16,462</td> <td>1,445</td> <td>958</td> <td>551</td> <td>2,281</td> <td>889</td> </tr> </tbody> </table>	区分	りんどう		きゅうり		ミニトマト		数量(箱)	販売額	数量	販売額	数量	販売額	県央 (県内シェア)	138,710 (57%)	1,261 (61%)	2,402 (33%)	622 (32%)	495 (57%)	360 (59%)	全県	243,559	2,082	7,319	1,950	866	606	区分	キャベツ		ほうれんそう		ねぎ		数量	販売額	数量	販売額	数量	販売額	県央 (県内シェア)	14,685 (89%)	1,308 (91%)	411 (43%)	244 (44%)	1,419 (62%)	548 (62%)	全県	16,462	1,445	958	551	2,281	889	<p>多様な雇用の創出、労働環境と所得の向上</p> <p>1 園芸産地力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> AIを搭載した切花りんどう自動選別機の導入に向けた、作業効率化研修や選別精度向上のための開発企業との意見交換の開催 光合成を促進させるCO2発生装置やミストによる加湿、自動換気など収量・品質の向上、省力化等を図るための低コスト環境制御技術の実証、普及現地研修会の開催  <p>AIが切花りんどうの長さ、段数等を自動判別し、選別調整作業を省力化</p>	<p>DX</p>
区分		りんどう		きゅうり		ミニトマト																																																		
	数量(箱)	販売額	数量	販売額	数量	販売額																																																		
県央 (県内シェア)	138,710 (57%)	1,261 (61%)	2,402 (33%)	622 (32%)	495 (57%)	360 (59%)																																																		
全県	243,559	2,082	7,319	1,950	866	606																																																		
区分	キャベツ		ほうれんそう		ねぎ																																																			
	数量	販売額	数量	販売額	数量	販売額																																																		
県央 (県内シェア)	14,685 (89%)	1,308 (91%)	411 (43%)	244 (44%)	1,419 (62%)	548 (62%)																																																		
全県	16,462	1,445	958	551	2,281	889																																																		
<p>○ 畜産の収益力向上 県央圏域は黒毛和種の産地であるが、飼養戸数・飼養頭数とも減少し、子牛の市場価格も低い状況。産地としての子牛評価の向上や生産性向上の取組を進める必要。 酪農及び肉用牛経営体の収益力向上と持続可能な生産のため、飼料生産や後継牛育成等の作業を請け負う外部支援組織の活用促進が必要 ◆肉用繁殖牛飼養頭数（単位：頭）</p> <table border="1" data-bbox="244 1257 996 1428"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飼養頭数※</td> <td>8,668</td> <td>8,471</td> <td>8,006</td> <td>8,455</td> <td>8,179</td> </tr> <tr> <td>農家戸数</td> <td>1,014</td> <td>992</td> <td>880</td> <td>874</td> <td>788</td> </tr> <tr> <td>管内一戸当たり頭数</td> <td>8.5</td> <td>8.5</td> <td>9.2</td> <td>9.7</td> <td>10.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 黒毛和種繁殖雌牛2歳以上 各年度2月1日時点（盛岡広域振興局調べ）</p>	区分	R1	R2	R3	R4	R5	飼養頭数※	8,668	8,471	8,006	8,455	8,179	農家戸数	1,014	992	880	874	788	管内一戸当たり頭数	8.5	8.5	9.2	9.7	10.4	<p>2 畜産の収益力向上 (1) ゲノミックを活用した優良雌牛群の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル実証農家におけるゲノミック評価に基づく優良母牛の選抜 ゲノミック評価に基づく改良の考え方や飼養管理技術向上のための研修会の開催  <p>ゲノミック評価の高い雌牛 → 優良な雌牛の生産 → 優良な雌牛集団への改良 → 市場価格が高い子牛</p>	<p>地経費</p>																														
区分	R1	R2	R3	R4	R5																																																			
飼養頭数※	8,668	8,471	8,006	8,455	8,179																																																			
農家戸数	1,014	992	880	874	788																																																			
管内一戸当たり頭数	8.5	8.5	9.2	9.7	10.4																																																			

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考																																																						
<p>◆岩手中央市場の子牛販売頭数及び価格 (単位：頭、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販売頭数※1</td> <td>12,666</td> <td>12,488</td> <td>12,131</td> <td>12,187</td> <td>12,286</td> </tr> <tr> <td>平均価格※2</td> <td>719</td> <td>654</td> <td>709</td> <td>614</td> <td>515</td> </tr> <tr> <td>県平均価格</td> <td>728</td> <td>661</td> <td>713</td> <td>625</td> <td>517</td> </tr> <tr> <td>全国平均</td> <td>746</td> <td>686</td> <td>745</td> <td>641</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 全農岩手県本部和牛子牛市場成績速報(4～3月) ※2 (独)農畜産業振興機構調べ(4～3月)</p> <p>◆乳用牛飼養頭数 (単位：頭)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飼養頭数※</td> <td>22,380</td> <td>21,569</td> <td>21,811</td> <td>19,504</td> <td>19,625</td> </tr> <tr> <td>農家戸数</td> <td>402</td> <td>391</td> <td>366</td> <td>353</td> <td>342</td> </tr> <tr> <td>管内一戸当たり頭数</td> <td>55.7</td> <td>55.2</td> <td>59.6</td> <td>55.3</td> <td>57.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各年度2月1日時点 (盛岡広域振興局調べ)</p>	区分	R1	R2	R3	R4	R5	販売頭数※1	12,666	12,488	12,131	12,187	12,286	平均価格※2	719	654	709	614	515	県平均価格	728	661	713	625	517	全国平均	746	686	745	641	—	区分	R1	R2	R3	R4	R5	飼養頭数※	22,380	21,569	21,811	19,504	19,625	農家戸数	402	391	366	353	342	管内一戸当たり頭数	55.7	55.2	59.6	55.3	57.4	<p>(2) 畜産外部支援サービス活用構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の外部支援組織(コントラクター、ヘルパー組合等)への作業管理システム等を活用した進捗管理やデータ分析による作業効率の高い作業受託体制整備を支援 畜産経営体による外部支援組織の有効活用に向けた、データの見える化、作業手順の見直し等を支援 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>トラクター等の農作業状況をリアルタイムで把握する「レボサク」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>センサーとスマホで牛の発情期を把握する「Heat Switch」</p> </div> </div>	<p>地経費</p> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">新規</p>
区分	R1	R2	R3	R4	R5																																																			
販売頭数※1	12,666	12,488	12,131	12,187	12,286																																																			
平均価格※2	719	654	709	614	515																																																			
県平均価格	728	661	713	625	517																																																			
全国平均	746	686	745	641	—																																																			
区分	R1	R2	R3	R4	R5																																																			
飼養頭数※	22,380	21,569	21,811	19,504	19,625																																																			
農家戸数	402	391	366	353	342																																																			
管内一戸当たり頭数	55.7	55.2	59.6	55.3	57.4																																																			
<p style="background-color: #FFD700; padding: 5px;">NYTへの掲載を契機とした交流人口の拡大</p> <p>○ 宿泊者数はコロナ禍前に戻りつつあり、NYT掲載による効果を広域に波及させることが重要 【観光庁 宿泊旅行統計調査】(単位：人泊)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">令和元年</th> <th colspan="2">令和5年</th> <th rowspan="2">令和6年 1～6月</th> <th rowspan="2">元年同期比</th> </tr> <tr> <th colspan="2">(1～6月)</th> <th colspan="2">(1～6月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩手県内</td> <td>6,276,670</td> <td>3,026,660</td> <td>5,855,350</td> <td>2,693,200</td> <td>2,558,940</td> <td>84.5%</td> </tr> <tr> <td>うち外国人</td> <td>343,970</td> <td>157,420</td> <td>282,510</td> <td>97,340</td> <td>174,190</td> <td>110.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 令和6年は速報値</p> <p>○ 県央圏域ならではの特徴やつながりを活かし、酒蔵ツーリズムや教育旅行誘致の取組に注力</p> <ul style="list-style-type: none"> 「いわて酒ノ宴」とも連動しながら、酒蔵ツーリズムを県央圏域ならではの観光コンテンツとして確立するため、魅力発信やブランド化に向けた取組の強化が必要 	区分	令和元年		令和5年		令和6年 1～6月	元年同期比	(1～6月)		(1～6月)		岩手県内	6,276,670	3,026,660	5,855,350	2,693,200	2,558,940	84.5%	うち外国人	343,970	157,420	282,510	97,340	174,190	110.7%	<p style="background-color: #FFD700; padding: 5px;">NYTへの掲載を契機とした交流人口の拡大</p> <p>1 県内酒造会社の4割が立地する県央圏域の地域資源である酒造り文化を活かした滞在・周遊型観光の推進によるNYT効果の圏域への波及</p> <p>◇ 「いわて酒ノ宴 2025 in もりおか」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> いわて酒ノ宴や岩手の酒のブランド化(GI)を絡めた旅行商品の造成と定番化の推進 PR動画やWEB広告による情報発信 <p>《参考》「いわて酒ノ宴 in もりおか 2024」開催実績 日時：10/5(土)・10/6(日) 来場者17,000人 出店：酒造会社26社(うち管内：日本酒9社、ビール・ワイン等9社)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>地経費</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">いわて酒ノ宴 in もりおか 2024</p>																													
区分		令和元年		令和5年				令和6年 1～6月	元年同期比																																															
	(1～6月)		(1～6月)																																																					
岩手県内	6,276,670	3,026,660	5,855,350	2,693,200	2,558,940	84.5%																																																		
うち外国人	343,970	157,420	282,510	97,340	174,190	110.7%																																																		


現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考																																			
<ul style="list-style-type: none"> 教育旅行入込状況は、校種・発地ともコロナ禍前の傾向に戻ってきており、教育旅行の学びのニーズに対応した情報発信が必要 <p>【教育旅行客入込数】(単位：人回)</p> <table border="1" data-bbox="253 384 1025 547"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">令和元年</th> <th colspan="2">令和4年</th> <th colspan="2">令和5年</th> <th colspan="2">前年同期比</th> </tr> <tr> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>校数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県央エリア</td> <td>1,603</td> <td>98,847</td> <td>2,132</td> <td>122,880</td> <td>1,809</td> <td>101,652</td> <td>84.8%</td> <td>82.7%</td> </tr> <tr> <td>県内合計</td> <td>3,243</td> <td>213,785</td> <td>4,742</td> <td>290,611</td> <td>3,739</td> <td>230,057</td> <td>78.8%</td> <td>79.2%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 台湾高級中学校の教育旅行は、今年度3校が来県見込み。今後、新たに学校交流を実施する管内高校に対して、事前学習や学校交流の運営の支援が必要 		令和元年		令和4年		令和5年		前年同期比		校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	県央エリア	1,603	98,847	2,132	122,880	1,809	101,652	84.8%	82.7%	県内合計	3,243	213,785	4,742	290,611	3,739	230,057	78.8%	79.2%	<p>2 教育旅行誘致</p> <p>【国内】盛岡の歴史的街並みや生活文化等を題材とした「学び」を深めるための学習教材「盛岡広域エリア探究学習ノート」を活用した教育旅行の誘致促進</p> <p>【台湾】管内高校との学校交流のマッチングや事前学習の支援など受入態勢の整備・充実</p>	
		令和元年		令和4年		令和5年		前年同期比																													
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数																													
県央エリア	1,603	98,847	2,132	122,880	1,809	101,652	84.8%	82.7%																													
県内合計	3,243	213,785	4,742	290,611	3,739	230,057	78.8%	79.2%																													
<ul style="list-style-type: none"> ○ 広域周遊観光や相互交流(マイクロツーリズム)の促進に向けて、隣接圏域や秋田県際地域との連携による魅力発信が必要 ○ Z世代は、SNSの画像や動画視聴など、観光情報へのアクセスや収集方法が多様化(じゃらんリサーチセンター)していることから幅広い世代への情報発信が必要 <p>【盛岡局公式Xのフォロワー数】(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="241 933 1032 1007"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6.10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フォロワー</td> <td>6,531</td> <td>7,305</td> <td>8,241</td> <td>9,690</td> <td>10,082</td> </tr> </tbody> </table>		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6.10	フォロワー	6,531	7,305	8,241	9,690	10,082	<p>3 秋田県際連携 鹿角地域振興局と連携した観光キャンペーン(デジタルスタンプラリー)等の実施</p> <p>4 局公式X「おでんせ!情報発信局」による観光情報、食、伝統文化の情報発信</p> 	<table border="1" data-bbox="1906 683 2011 719"> <tr> <td>広域</td> </tr> </table>	広域																						
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6.10																																
フォロワー	6,531	7,305	8,241	9,690	10,082																																
広域																																					
<p>市町村との一層の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人口減少対策は、市町村と更に連携を密にし、地域の特性を踏まえながら対策を講じていくことが必要 ○ 特に人口減少率の高い小規模町を重点的に支援していくことが重要 	<p>市町村との一層の連携強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域経営推進費市町村連携枠及び地域経営推進費小規模自治体支援事業を活用し、市町と連携した人口減少対策を実施 管内8市町人口減少対策担当課長会議等による情報提供・意見交換を定期的を実施するとともに、振興局版小規模町への伴走支援により地域特性に応じた対策を検討し、引き続き事業化を支援 																																				

2 地域振興プラン



2 (1) 豊かな環境が保全され、自然の恵みを将来にわたって享受できる地域社会をつくります（環境保全）


現状・課題		令和7年度の具体的な事業内容		備考																						
<p>(1) 多様で豊かな環境の保全・保護の推進</p> <p>○ ツキノワグマの市街地出没・人身被害が増加し、人身被害防止のための普及啓発や担い手となる狩猟者確保が必要</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害(4-12月) (管内)</td> <td>人身被害(4-12月) (県全体)</td> <td>出没件数(4-12月) (管内)</td> <td>出没件数(4-12月) (県全体)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">過去 最多</td> <td>R4</td> <td>6件6名</td> <td>23件24名</td> <td>483件</td> <td>2,156件</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>15件17名</td> <td>46件49名</td> <td>1,755件</td> <td>5,818件</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>0件0名</td> <td>9件9名</td> <td>718件</td> <td>2,573件</td> </tr> </table> <p>※R6は4-9月</p> <p>シリアスゲーム 「人とツキノワグマの共生」をテーマにしたボードゲーム。 クマの習性や入山時の対策、里山のあり方を幅広い世代に遊びながら考えてもらう(盛岡市動物公園 ZOOMO と局職員が開発に携わり、ZOOMO がクラウドファンディングを活用し制作)</p>				人身被害(4-12月) (管内)	人身被害(4-12月) (県全体)	出没件数(4-12月) (管内)	出没件数(4-12月) (県全体)	過去 最多	R4	6件6名	23件24名	483件	2,156件	R5	15件17名	46件49名	1,755件	5,818件	R6	0件0名	9件9名	718件	2,573件	<p>○ 市街地におけるツキノワグマによる人身被害防止を図るための普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ZOOMO と連携した勉強会の開催(クマの生態を学ぶ、シリアスゲームを活用しクマとの共生を考える) ・ 出没防止対策支援(ゾーニング管理) ・ クマ鈴等着用定着促進(貸与事業)   <p>滝沢第2小学校での勉強会 (R6.5月)</p>		<p>安全・安心</p> <p>地経費</p> 
		人身被害(4-12月) (管内)	人身被害(4-12月) (県全体)	出没件数(4-12月) (管内)	出没件数(4-12月) (県全体)																					
過去 最多	R4	6件6名	23件24名	483件	2,156件																					
	R5	15件17名	46件49名	1,755件	5,818件																					
	R6	0件0名	9件9名	718件	2,573件																					
<p>(2) 動物愛護思想の普及と適正飼養の推進</p> <p>○ 多頭飼育等に関する相談・苦情が増加しており、動物の適正飼養の普及啓発や社会福祉関係部局等関係機関との連携が必要</p> <table border="1"> <tr> <td>管内犬猫 相談苦情</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6 (9月末)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>104件 (4件)</td> <td>102件 (15件)</td> <td>145件 (16件)</td> </tr> </table> <p>()は多頭飼育関連</p>		管内犬猫 相談苦情	R4	R5	R6 (9月末)		104件 (4件)	102件 (15件)	145件 (16件)	<p>○ 動物愛護管理の推進に向けた多機関連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉部所等関係機関連絡会議の開催 ・ 「社会福祉と動物愛護を考える研修会」の開催 ・ 譲渡促進と緊急対応時への措置(疾病検査キット、ワクチン、ケージなど配備) 		<p>安全・安心</p> <p>地経費</p>														
管内犬猫 相談苦情	R4	R5	R6 (9月末)																							
	104件 (4件)	102件 (15件)	145件 (16件)																							

2 (2) 豊かな環境が保全され、自然の恵みを将来にわたって享受できる地域社会をつくります (脱炭素)


現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考
<p>(3) 再生可能エネルギーの導入促進</p> <p>○ 大型製材工場、近隣圏域の合板工場や木質バイオマス発電所等の大口需要者に対し、事業者が行う地域材を安定供給する体制整備に向けた支援が必要</p> <div data-bbox="376 528 748 584" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px 0;"> 木材産業国際競争力強化対策事業 R6 導入 移動式チップパー </div> 	<ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマスを供給する事業者に対して、松くい虫被害木等のチップ化による燃料材としての活用を促進 未利用間伐材等を有効活用するため、要望があった林業事業体に対しチップパー機の導入を支援 	<div style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px; border-radius: 5px; display: inline-block;">GX</div>

4 過去の教訓を踏まえた防災対策を進めます

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考
<p>(1) 河川改修や砂防施設による防災安全度の向上</p> <p>○ 豪雨に伴う災害が激甚化、頻発化しており、洪水・土砂災害による被害を軽減するため早期の防災施設整備が必要</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="235 933 607 1214" style="text-align: center;">  <p>砂防 外水沢地区 (八幡平市)</p> </div> <div data-bbox="645 933 1041 1214" style="text-align: center;">  <p>火山砂防堰堤</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 河川改修の推進 <ul style="list-style-type: none"> 木賊川 遊水地工事 (盛岡市・滝沢市) 太田川 早期着工のため関係者調整 (紫波町・矢巾町) 北上川・松川 河川改修工事 (盛岡市) 北上川 河川改修工事 (岩手町) ○ 砂防施設や急傾斜地崩壊対策施設の整備の推進 <ul style="list-style-type: none"> 砂防: 高森の沢 早期着工のため各種調査を推進 (滝沢市) 砂防: 上鶴飼の沢 砂防堰堤築造工事 (滝沢市) 砂防: 外水沢 砂防堰堤築造工事 (八幡平市) 急傾斜: 山岸地区 法面对策工事 (盛岡市) 	<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; border-radius: 5px; display: inline-block;">安全・安心</div>
<p>(2) 地震に強い社会資本の整備</p> <p>○ 地震災害発生後も確実な通行経路となる緊急輸送道路における橋梁の耐震化が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 橋梁耐震化の整備推進 <ul style="list-style-type: none"> 盛岡横手線 (夕顔瀬橋: 盛岡市) 	<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; border-radius: 5px; display: inline-block;">安全・安心</div>

<p>(3) 災害関連情報の充実強化による減災対策</p> <p>○ 指定済みの水位周知河川や洪水浸水想定区域について適切に運用するとともに、最近の豪雨災害を踏まえた新規指定河川の検討が必要</p>  <p style="text-align: center;">一級河川米内川 越水状況</p>	<p>○ 地元自治体との情報共有及び連携強化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水位周知河川のホットラインの運用 ・ 米内川（盛岡市）：水位周知河川指定（出水期までの指定に向けて取り組む） 	<p>安全・安心</p>
--	---	--------------

5 安心・快適な都市環境・生活環境をつくります

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考
<p>(1) 高次都市機能の充実</p> <p>○ 交通混雑を緩和し、市街地の円滑な交通が必要</p>	<p>○ 交通混雑が緩和される街路の整備推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 盛岡駅本宮線（杜の大橋：盛岡市） 照明、歩道部消雪装置、道路改良等 	
<p>(2) 安全・安心な歩行空間及び自転車通行空間の確保</p> <p>○ 児童生徒の安全な通学のため歩道整備が必要</p>  <p style="text-align: center;"> <施工前>古館停車場線 中島工区（紫波町） <一部完成>古館停車場線 中島工区（紫波町） </p> <p>○ 自転車通行帯の明示により歩行空間と分離し、安全・安心な歩行空間及び自転車通行空間の確保が必要</p>	<p>○ 歩道整備や歩行空間確保の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古館停車場線（中島：紫波町） ・ 上米内湯沢線（浅岸：盛岡市） ・ 渋民田頭線（五百森：八幡平市） <p>○ 自転車通行帯の明示の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 氏子橋夕顔瀬線（夕顔瀬町：盛岡市） 	<p>安全・安心</p>

6 産学官金連携によるIT産業の育成やものづくり産業の振興に取り組みます

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考
<p>(1) IT・ものづくり産業の幅広い産業分野への参入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタル化に取り組む県内企業の割合は約5割となっており(2021.9 岩手経済研究所)、IT産業と多様な産業との連携に向けた支援が必要 ○ IT連携コーディネーターマッチング支援状況 (R5) <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業等訪問 63 社 ・ ITツール導入取引成約件数 7 件 (板金工場へのAI調色管理測色システムの導入支援等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な産業分野へのIT企業の参入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ IT連携コーディネーターによる企業訪問等を通じたビジネスマッチング支援 ・ 県南広域振興局と連携したIT×ものづくり企業のインタラクティブミーティングの開催 ○ IT・ヘルスケア関連企業等の展示会等出展支援を通じた取引拡大の促進 	<p style="text-align: center;">DX</p> <p style="text-align: center;">広域</p> <p style="text-align: center;">地経費</p>

7 (2) 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域経済を活性化します(食産業・工芸品産業)

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考										
<p>(1) 食品・工芸品製造事業者の事業再構築と人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原材料の価格高騰や人手不足等が、事業者の企業経営に悪影響 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営の安定化を図る事業者の事業再構築や生産性向上への取組等の支援が必要 <p>【県央圏域の食料品製造業出荷額】(単位:億円)</p> <table border="1" data-bbox="259 967 840 1050"> <thead> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,285</td> <td>1,267</td> <td>1,289</td> <td>1,277</td> <td>1,280</td> </tr> </tbody> </table>	H30	R1	R2	R3	R4	1,285	1,267	1,289	1,277	1,280	<ul style="list-style-type: none"> ○ IT連携コーディネーターとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 当局のIT連携コーディネーターによる、管内食産業事業者に対するデジタル導入支援を始めとした生産性向上支援 ○ 各種支援機関等の専門家の活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県産業創造アドバイザー、よろず支援拠点、商工指導団体及び金融機関等の活用 	<p style="text-align: center;">DX</p> <p style="text-align: center;">広域</p>
H30	R1	R2	R3	R4								
1,285	1,267	1,289	1,277	1,280								
<p>(2) 商品の高付加価値化及び販路拡大の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食品製造事業者及び工芸品製造事業者の販路や売上の拡大につなげるため、販売機会等の創出に向けた支援が必要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統工芸品の販路について、従来の百貨店売場が縮小する一方、セレクトショップが伸長 ・ 食産業について、県主催の商談会等による販路開拓のほか、県外ファン獲得に向けたきっかけづくりが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工芸品販路拡大支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種バイヤーとの関係強化を支援し販路開拓につなげるための工房見学会の実施 ○ 大都市圏における物産展の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食産業事業者の販路開拓に向けた宮城県内のイオンモールでの物産展の開催 	<p style="text-align: center;">広域</p> <p style="text-align: center;">地経費</p>										



工房見学会

(3) 観光等と連携した食産業・工芸品産業の振興

- 管内の北いわてゾーン3市町（八幡平市・岩手町・葛巻町）を中心に観光・物産のPRの場が必要



- 北いわてゾーン3市町の観光・物産フェア

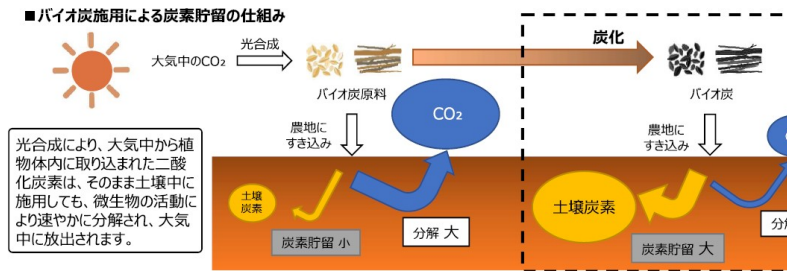

- ・ さいたま市における首都圏の地方創生の取組と連携し、3市町に特化した観光・物産フェアを実施し、交流人口の拡大と食産業等の販路拡大を支援




地経費





8 米・園芸・畜産のバランスがとれた農業の持続的発展と活力のある農村づくりを進めます

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考																		
<p>(1) 生産性・市場性の高い安全・安心な産地づくり</p> <p>ア 需要に応じた米生産の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 県央圏域の「銀河のしずく」栽培面積は県内の7割を占め、今後も拡大が予定される中であって、低コスト・省力化を図りつつ高品質化に向けた技術支援が必要 学校給食や飲食店での需要も見据え、知名度を高め、一層の消費拡大を図る必要 令和7年デビューの「岩手141号」について、生育特性等を生産者へ情報提供するなど、生産拡大に向けた取組が必要 <p>◆「銀河のしずく」作付面積 (単位: ha)</p> <table border="1" data-bbox="241 826 981 962"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県央 (県内シェア)</td> <td>1,084 (73%)</td> <td>1,164 (70%)</td> <td>1,136 (63%)</td> <td>1,578 (63%)</td> <td>3,354 (72%)</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>1,479</td> <td>1,652</td> <td>1,800</td> <td>2,500</td> <td>4,650</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 畜産の収益力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年の温暖化により、従来から栽培されている寒冷地型牧草の夏枯れが多発しており、粗飼料増産に向けた取組が必要 夏季の猛暑により、暑さに弱い搾乳牛の乳量が低下していることから、牛舎内の暑熱対策が必要  <p>夏枯れが発生した草地 (R5) → 追加は種を行った翌春の草地 (R6)</p>	区分	R1	R2	R3	R4	R5	県央 (県内シェア)	1,084 (73%)	1,164 (70%)	1,136 (63%)	1,578 (63%)	3,354 (72%)	全県	1,479	1,652	1,800	2,500	4,650	<p>ア 需要に応じた米生産の推進</p> <p>子育て世代への「銀河のしずく」PRによる知名度向上や消費拡大、新品種「岩手141号」の普及推進</p> <p>○ 盛岡地域のおコメ消費拡大事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 「銀河のしずく」を給食で提供している保育施設、小中学校における、市町・JA・銀河のしずく生産者マイスターによるイベントの実施 「岩手141号」の生産拡大に向けた、生産者を対象とした試食会等の実施  <p>保育園での出張おにぎり教室 (R6.10)</p> <p>イ 畜産の収益力向上</p> <p>夏季高温に強い牧草や飼料作物の試験栽培、牛舎内の暑熱対策技術の普及に向けた取組を実施</p> <p>○ 畜産暑熱対策総合実践事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 暖地で実施されている二毛作(トウモロコシ+ライ麦等)及び暖地型牧草の導入による粗飼料増産の検証 ドライフォグシステムによる牛舎内の温度低減実証  <p>超微粒子の霧で周囲を濡らすことなく、気化熱で温度を下げる</p>	<p>備考</p> <p>地経費</p> <p>一部新規</p>  <p>GX</p> <p>地経費</p> <p>新規</p>
区分	R1	R2	R3	R4	R5															
県央 (県内シェア)	1,084 (73%)	1,164 (70%)	1,136 (63%)	1,578 (63%)	3,354 (72%)															
全県	1,479	1,652	1,800	2,500	4,650															

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考
<p>ウ 環境に配慮した農業生産の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> みどりの食料システム法において、バイオ炭の土壌施用による炭素貯留が環境負荷低減技術の一つに位置付け（J-クレジット制度の対象） 地域資源の有効活用につながる技術の実証試験が岩手町でスタート <p>■ バイオ炭施用による炭素貯留の仕組み</p>  <p>光合成により、大気中から植物体内に取り込まれた二酸化炭素は、そのまま土壌中に施用しても、微生物の活動により速やかに分解され、大気中に放出されます。</p> <p>植物体などを炭化することで、分解されにくくなるため、土壌中に施用しても大気中に放出されず、炭素貯留につながります。</p>	<p>ウ 環境に配慮した農業生産の推進</p> <p>野菜栽培へのバイオ炭施用による品質向上や収穫量の向上効果の検証</p> <p>○ 高収益園芸作物DX・GX導入実証事業（バイオ炭の農地施用効果の検討）</p> <ul style="list-style-type: none"> 野菜栽培へのバイオ炭施用効果の検討 <p>実施品目：ナガイモ、ニンニク、キャベツ 実証経営体：株式会社アンドファーム</p>  <p>バイオ炭と牛ふん堆肥を混合し、野菜ほ場施用（岩手町）</p>	<p>備考</p> <p>G X</p>

9 森林資源の循環利用促進ともうかる林業・木材産業の構築を進めます


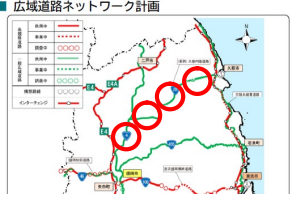
現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考
<p>(1) 森林資源の循環利用及び担い手の育成・確保</p> <p>○ 計画的な主伐、造林、間伐を進めるため、地域の森林経営管理の主体となる意欲と能力のある林業経営体の育成が必要</p>  <p>スマート林業の取組（ドローンレーザー等を活用した画像解析）</p> <p>○ 豪雨等による被害が頻発する中、自然災害等に強い山村づくりに向け、治山施設の着実な整備と市町や地域住民と連携した防災・減災への取組が必要</p>	<p>○ 森林経営計画作成を担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 意欲と能力のある林業経営体と森林施業プランナーの育成 森林GISや森林クラウドなど情報通信技術（ICT）等の先端技術を活用したスマート林業の推進 <p>○ 荒廃森林の復旧や災害の未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な治山施設の整備、治山施設の定期点検 山地災害危険地区の周知による警戒避難体制構築の促進 	<p>備考</p> <p>G X</p> <p>D X</p>

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考
<p>(2) 地域材の利用促進</p> <p>○ 間伐・再造林等の森林整備や地域材の利用を促進する森林の循環利用の推進が必要</p> <p>○ 管内の木材需要の拡大、住宅リフォームや店舗等での需要拡大を図るため、更なる地域材のPRが必要</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>建築士への啓発 盛岡木材流通センター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>七ツ森ベンチ</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業事業者が行う森林施業の集約化、路網の整備、林業の低コスト化の取組や高性能林業機械の導入を支援 ・ 建築業者やデザイナーに地域材利用を普及啓発 <ol style="list-style-type: none"> ① 地域材利用に理解のある建築士等を招聘し、管内で生産される地域材の普及啓発を図るとともに、大型建築物への地域材利用をPR ② 招聘した建築士等と学生*との交流の場を設けることで、未来の建築士として期待される学生に地域材への理解を醸成 <p>※ 県立産業技術短大矢巾キャンパス建築科を検討中</p>	<p style="text-align: center; background-color: #008000; color: white; padding: 5px;">G X</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地経費</p>
<p>(3) 原木しいたけ産地の再生</p> <p>○ 価格が高騰し、不足している原木の安定確保とともに、担い手の確保・育成が必要</p> <p>○ 経営の安定化に向けた収益の確保のため、販売拡大が必要</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>原木しいたけ販売促進活動 盛岡市農業まつり R6. 10. 20</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イトーヨーカドー本社 (東京)との商談 R5. 11. 10</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ しいたけや原木等の放射性物質検査の実施による安全性をPR ・ 原木コネクターが増産した原木に対する助成及び原木コネクターとしいたけ生産者による意見交換等を通じて原木の安定供給を支援 ・ 新たな収益確保を図るため、関西圏における販売先を検討し商談 	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地経費</p> <p style="text-align: center; background-color: #ff0000; color: white; border-radius: 50%; padding: 5px;">一部新規</p>

10 地域産業の特性に応じた産業人材の確保・育成とやりがいを持って働くことができる労働環境の整備を進めます

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考
<p>(1) 企業における雇用・労働環境整備の促進</p> <p>○ 企業の魅力発信力の向上、待遇改善やワーク・ライフ・バランスなど働き方改革の推進が必要</p>	<p>○ 企業の採用力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の採用力強化セミナーへの参加促進 企業による企業ガイダンスの見学（見学後に企業間交流の機会を設け、取組等共有） 	

11 産業活動を支える交通ネットワークを整えます

現状・課題	令和7年度の具体的な事業内容	備考
<p>(1) 物流・交流ネットワークの整備</p> <p>○ 物流・交流の基盤となる道路の整備推進が必要</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="369 718 604 893">  <p data-bbox="324 901 616 965">国道 282 号佐比内工区 (終点側・トンネル工事中)</p> </div> <div data-bbox="660 718 952 917">  <p data-bbox="660 925 952 965">(仮称) 久慈内陸道路</p> </div> </div>	<p>○ 産業経済活動を支える物流ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道 4 号盛岡南道路の整備促進に向けた国への働き掛け <p>○ 県央圏域内外との交流を促進する広域ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 国道 282 号 (佐比内：八幡平市)：トンネル本体工事の推進、舗装及び照明工事の着手 構想路線「(仮称) 久慈内陸道路」の検討を推進 	